

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立高田中学校

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習のために」



【端末持ち帰りへの取り組み】

昨年度までの2年間は、今度珠美先生によるデジタル・シティズンシップのオンライン授業をウェブ会議ソフトで鳥取とを繋いで実施しました。今年度は、校内の教員たちで本格的な持ち帰りに向けて指導を行いました。



先生のコメント

学校だけの方で、生徒のより適切な端末活用の実現は非常に難しい。子どもたちがこれからの情報社会を生き抜くための知恵を磨き、デジタル市民として成長できるように、生徒と保護者の方で家庭内ルールを作成するなど、学校と家庭が同じ方向を向いて力を合わせていきたい。

①「学校だより」で持ち帰り・教育DXについての案内を家庭で共有

② 「デジタル・シティズンシップ」 1・2・3学年 総合的な学習の時間
授業 めあて：端末持ち帰りにあたって自分のメディアバランスを考える

③ 「持ち帰りについて」 1・2・3学年 総合的な学習の時間
授業 めあて：端末持ち帰り実施上の留意事項等を学ぶ

1 よく使用するメディアの
名称・生活習慣を挙げる

学習支援アプリのアンケート機能や、カード作成を活用してアプリ名や睡眠などの生活習慣に関するワードを全体に共有する

2 ワードをチャート
に配置

共有されたワードを一日の生活の中での実際の時間配分にあわせてピラミッドチャート上に配置する

3 共有・振り返り

作成したチャートを提出フォルダへと提出し、友だちの時間の使い方を見ながら今後の自身のメディアバランスについて考える

朝
学
活

○資料の受け取り

- ・Chromebook端末持ち帰り実施とご家庭での利用について
- ・同意書 兼 誓約書
- ・資料1_ネット接続方法
- ・資料2_持ち帰りに関する問い合わせ先とFAQ
- ・情報モラルリーフレット(横浜市作成)

|
時
限

○各クラスにて、担任より持ち帰りについて説明を聞く

- ・自宅での使用を希望する者のみ、持ち帰りが可能になる
- ・持ち帰りを希望する場合、都度Formsでの申請が必要である

○全校向けMeetで学校長・GIGA推進担当から資料に基づいた説明を聞く

- ・GIGA端末持ち帰りの目的、普遍的な注意事項の再周知
- ・配布資料の確認および読み合わせ

④「同意書 兼 誓約書」の提出

⑤ 「学校だより」にて「デジタル・シティズンシップ授業」の報告および、協力をお願いを家庭で共有

⑥端末持ち帰り開始

≪持ち帰り実施までの流れ≫